



## 学校再開から3週間が過ぎました

紫陽花の花が徐々に紫色を深め、日ごとに暑さも増してきました。これまでの新型コロナウイルス感染症対応だけでなく、熱中症にも注意が必要な時期となりました。学校再開から3週間が過ぎ、子どもたちの表情にも活気が見られるようになりました。こまめな水分補給に心がけるなど、新しい生活様式における熱中症予防に努めながら過ごしていきたいと思えます。

## ○横断歩道の渡り方の練習をしました

例年、交通安全協会の方に来ていただき、交通安全教室を実施しておりましたが、今年も臨時休業で日程が立てられず、講師依頼を断念し、本校職員で先月の28日(木)に実施しました。

今回は1、2年生のみ、校門前の横断歩道で横断の仕方を練習しました。横断歩道の手前で必ず止まり、左右の確認をし、手を挙げて左右を見ながら横断することを繰り返し練習しました。今年の春の全国交通安全運動のスローガンが「しっかりと止まってかくにん 横だん歩道」でした。1年担任が、渡る前に必ず止まること、左右の確認をしっかりとすることを繰り返し話しました。練習したことをしっかりと守って、そして「道路に飛び出さない」、「道路で遊ばない」などの交通ルールを守り、安全に気を付けて登下校してほしいと思えます。



## ○1年「みんなにはなそう」

1年の国語の教科書に「みんなにはなそう」という単元があります。先日、国語の時間に子どもたちの発表を見る機会がありました。身の回りで見つけたものの中から紹介するものを選び、相手に聞こえるように、声の大きさを工夫して話す活動ということでした。

身の回りで見つけたものをクイズ【私(ぼく)は、何を見つけたのでしょうか。○ではじまります。どこで見つけましたか。○○で見つけました。○○だと思えます。】の形にして、みんなでやりとりをしながら話したり聞いたりしました。最後に見つけたものが答えられたら、【正解です。】と言って、自分が描いた「見つけたものの絵」を紹介していました。

前回の学校だよりで、4年の「音読発表会」の様子を紹介しましたが、この1年の「伝えたい事柄や相手に応じて、声の大きさや速さなどを工夫して話す」学習が、「話の中心を聞き手に分かりやすく伝える話し方」につながっていきます。



## ○5・6年複式算数科の授業を参観していただきました

県教育センターの研修講座に、市内の小、中学校等が実施協力校として指定を受け、授業を公開する「教育研修ゾーン」が設定されています。今回、本校が協力校として、今月4日に複式教育研修講座の公開授業が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症予防の対応で、中止となりました。しかし、折角の機会でしたので、センターから講師をお招きし、指導をいただくことにしました。

そこで、本年度本校に赴任した5・6年担任の廣瀬教諭が、複式算数科の授業を行いました。両学年同時に直接指導ができないため、指導過程をずらし、直接指導ができない時間に子どもたちが自分たちの力で学習を進められるようにするなど、複式の授業形態に沿いながら、ガイド学習やペアでの学習を取り入れるなど、これまでの子どもの学びを生かした授業でした。でも、いろいろと課題も指摘していただきました。「友達の発言をしっかりと聞くこと」は、相手を大切にすることであり、互いに考えを伝え合うことで、子どもたちが安心して学べる授業ができる。そういう授業づくりを通して「分かる」「楽しい」授業を目指してほしいと指摘していただきました。



本年度が研究指定2年目に当たり、昨年度の成果と課題を踏まえ、さらなる「複式学級における算数科の授業づくり」の充実に向け、実践を積んでいきたいと思えます。